

すいせん

会長就任のごあいさつ……………	1
福井県作業療法士会 組織図 ……	2
役員就任挨拶 ……………	3・4
新役員就任挨拶……………	5
リレー随筆……………	6
幅広い分野でご活躍されている 作業療法士のご紹介……………	7
新人紹介……………	8

会長就任のごあいさつ

一般社団法人福井県作業療法士会 会長
春江病院 介護事業部 **田嶋 神智**



会員の皆様には、日頃より当士会活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

この度、第14回社員総会におきまして、県士会会長を拝命いたしました。役員一同、決意を新たに県士会の発展に一層の努力を傾注していきたいと思っております。

さて、山本伸一新会長のもと（一社）日本作業療法士協会は、第四次作業療法5ヶ年戦略の中で「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指しており、当士会においても、地域包括ケアシステムの推進、並びに地域共生社会の構築に向け、これまでの問題点を踏まえつつ、以下の項目について重点的に取り組んでいきたいと考えています。

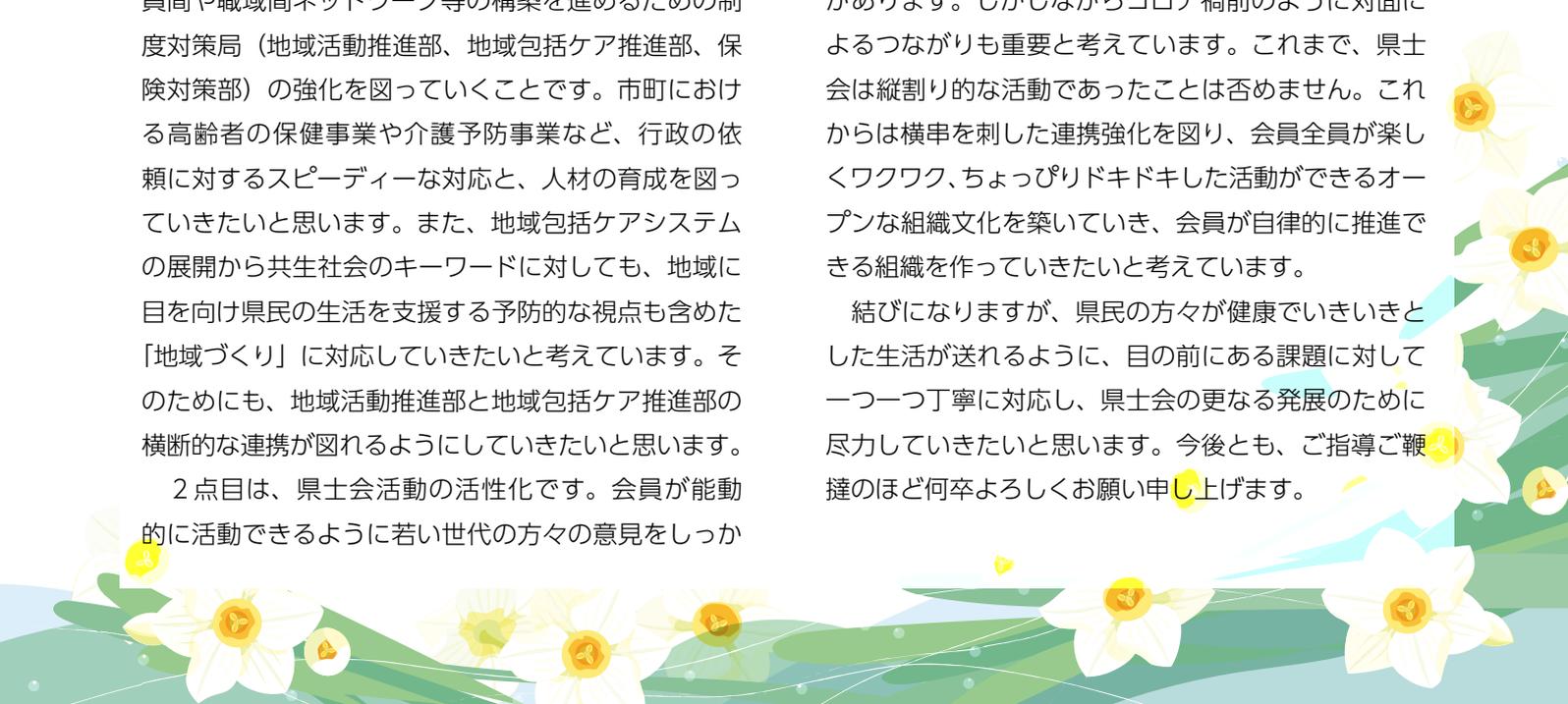
1点目は、日常生活圏域での士会活動の活性化や会員間や職域間ネットワーク等の構築を進めるための制度対策局（地域活動推進部、地域包括ケア推進部、保険対策部）の強化を図っていくことです。市町における高齢者の保健事業や介護予防事業など、行政の依頼に対するスピーディーな対応と、人材の育成を図っていききたいと思います。また、地域包括ケアシステムの展開から共生社会のキーワードに対しても、地域に目を向け県民の生活を支援する予防的な視点も含めた「地域づくり」に対応していきたいと考えています。そのためにも、地域活動推進部と地域包括ケア推進部の横断的な連携が図れるようにしていきたいと思っております。

2点目は、県士会活動の活性化です。会員が能動的に活動できるように若い世代の方々の意見をしっかり

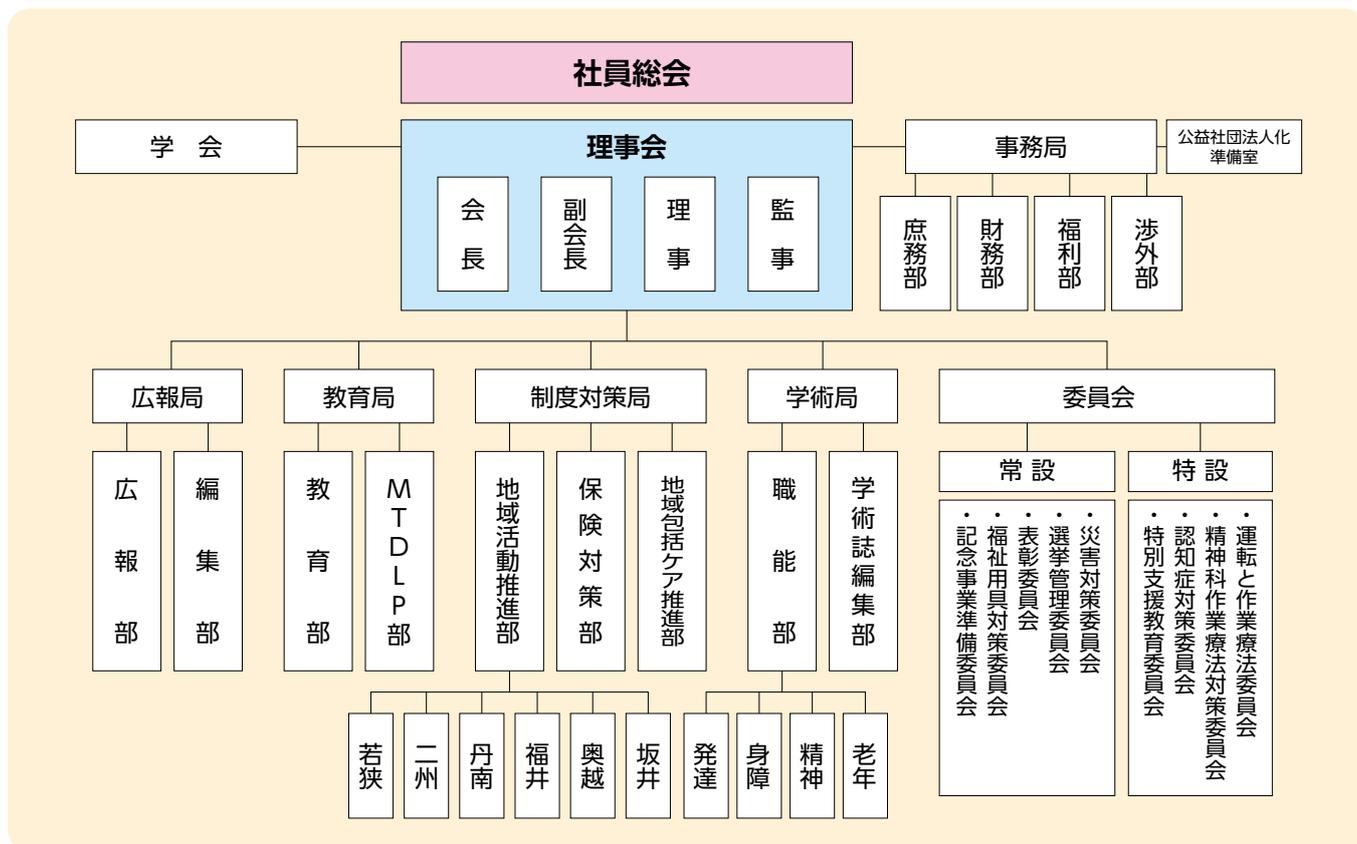
り取り入れること、女性会員の子育て期の支援や、新入職者を含めた若い世代の方々の興味関心のある分野（部局）に対して、協力部員として活躍できる場を提供していきたいと考えています。そのためにも、いろんな媒体を使って県士会活動の見える化を図っていき、協会員＝士会員を視野に、入会者の促進、退会者の抑制を図り組織率の向上を図っていきます。

3点目は、新型コロナウイルス感染症の影響で、県民の生活のみならず我々の士会活動も大きく変化しました。3月に開催されました県学会においては、ICTを活用したオンラインでの開催となり、これからの私たち士会員の活動はデジタルトランスフォーメーションによる、新たな取り組みにチャレンジしていく必要があります。しかしながらコロナ禍前のように対面によるつながりも重要と考えています。これまで、県士会は縦割りの活動であったことは否めません。これからは横串を刺した連携強化を図り、会員全員が楽しくワクワク、ちょっぴりドキドキした活動ができるオープンな組織文化を築いていき、会員が自律的に推進できる組織を作りたいと考えています。

結びになりますが、県民の方々が健康でいきいきとした生活が送れるように、目の前にある課題に対して一つ一つ丁寧に対応し、県士会の更なる発展のために尽力していきたいと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



(一社) 福井県作業療法士会組織図 2023～



会長・副会長・監事

【会長】

田嶋 神智 (医療法人博俊会 春江病院)

【副会長】

紅野 勉 (医療法人池慶会 池端病院)

岡本 利子 (医療法人 嶺南こころの病院)

下川 幸蔵 (学校法人新田塚学園 福井医療大学)

【監事】

藤波 英司 (南ハートフルケア)

中山 幸保 (医療法人博俊会 春江病院)

事務局

【事務局長】

山村ひとみ (カルミア春江)

学術局 局長：亀井絵理奈

【学術誌編集部】

学術誌編集部担当理事／酒井 涼

(学校法人新田塚学園 福井医療大学) **新**

【職能部】

職能部担当理事／亀井絵理奈

(国立大学法人 福井大学医学部附属病院)

制度対策局 局長：前田 真弘

【地域包括ケア推進部】

地域包括ケア推進部担当理事／水上 保孝

(医療法人厚生会 福井厚生病院)

【保険対策部】

保険対策部担当理事／山田 祐輝 (中村病院) **新**

【地域活動推進部】

■坂井・奥越

坂井奥越ブロック担当理事／前田 真弘

(有限会社なるぞ リハビリスタジオなるぞの森)

■福井

福井ブロック担当理事／松塚 泰孝

(㈱ケア・フレンズ)

■丹南

丹南ブロック担当理事／田中江津子

(自宅会員) **新**

■二州・若狭

二州・若狭ブロック担当理事／片山 洋平

(医療法人保仁会 泉ヶ丘病院通所リハビリテーションいづみ)

教育局 局長：樋田 貴紀

【MTDLP部】

MTDLP部担当理事／熊狼 妙子

(一般財団法人新田塚医療福祉センター 福井総合クリニック)

【教育部】

教育部担当理事／樋田 貴紀

(日本赤十字社 福井赤十字病院) **新**

広報局 局長：清水 雅浩

【編集部】

編集部担当理事／清水 雅浩

(医療法人健康会 嶋田病院)

【広報部】

広報部担当理事／前田 真弘

(有限会社なるぞ リハビリスタジオなるぞの森)

常設委員会

【災害対策委員会】

委員長／横山 千晶

(一般財団法人新田塚医療福祉センター 福井総合病院)

【選挙管理委員会】

委員長／松田 卓也

(医療法人福仁会 訪問看護ステーション 仁里)

【表彰委員会】

委員長／堀 敦志

(学校法人新田塚学園 福井医療大学)

【福祉用具対策委員会】

委員長／山川 愛

(社会福祉法人 げんきの家)

【記念事業準備委員会】

委員長／下川 幸蔵

(学校法人新田塚学園 福井医療大学)

特設委員会

【運転と作業療法委員会】

委員長／面瀬祐太郎

(一般財団法人新田塚医療福祉センター 福井総合クリニック)

【精神科作業療法対策委員会】

委員長／岡本 利子

(医療法人 嶺南こころの病院)

【認知症対策委員会】

委員長／中村こと美

(医療法人 たけとう病院デイケア野向の舎)

【特別支援教育委員会】

委員長／木下美智子 (こども療育センター)

役員就任のごあいさつ



副会長
医療法人池慶会
池端病院

紅野 勉

「地域包括ケアシステムに資する作業療法士を目指して」

来年度の診療報酬改定、介護報酬改定、障害福祉のトリプル改定を直前に控え、また、地域包括ケアシステムの構築を目指す 2025 年までわずかな時間しかありません。

ダイバーシティ「=多様性」という言葉を耳にする機会が増えましたが、作業療法士を取り巻く環境も真に多様性に満ち、職場、対象者、組織など様々な人や団体と連携・協業し、生活行為に支障がある人々を多面的に支援することが求められています。地域包括ケアの時代に対応するためには、県士会の機能を見直し、地域ブロックの活動を強化し、また、会員が積極的に士会活動に参加できるような体制づくりが必要であると思います。

副会長として立候補し、6 期目を迎えました。田嶋会長を補佐し、県士会の活動が一段と活発になるように精一杯努めて参りたいと考えています。今期は MTDLP のさらなる普及と定着、地域活動の推進、地域包括ケアに資する人材育成に取り組んで参ります。会員の皆様には県士会活動への積極的な参加をお願いする次第でございます。



副会長
医療法人 嶺南こころの病院

岡本 利子

「運営組織の心理的安全性を育てる」

今期、私は福井県作業療法士会の副会長として、運営組織である理事会・委員会の「心理的安全性」を育むことに取り組みます。心理的安全性が高い組織とは、①話しやすさ、②助け合い、③挑戦、④新奇歓迎、の 4 要素を備えており、組織のメンバーが対人関係のリスクを恐れずに自分の意見を発信し高いパフォーマンスを発揮できる組織です。今後、協会員=士会員の動きがいよいよ本格化します。協会が職業団体として我々作業療法士の活躍できる場を開拓し守る等の「種を蒔く、旗をふる」役割を担い、「育てる」役割は各県士会が担うこととなります。前期より田嶋会長が示す「ワクワクする県士会」だと会員の皆様に感じていただけるよう、各理事会・委員会が「心理的安全性」をもって、大切な「育てる」役割を、自由な発想で企画し実行に移していけるような組織づくりに努めてまいります。



副会長
学校法人新田塚学園
福井医療大学

下川 幸蔵

「副会長就任あいさつ」

副会長就任にあたり、まずはこれまでのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。私たち作業療法士は、対象者の生活の質向上のために日々奮闘しています。そして、福井県作業療法士会は、専門的技術の発展と地域社会への貢献を目指しています。そのためには、情報共有、協力、共に成長することが重要です。私の役割は、会員の皆様の声に耳を傾けながら活動を行うことだと考えています。皆様と協力し、作業療法の地位向上と対象者の生活、より良い社会の実現のために努力を惜しまず邁進して参ります。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



事務局長
カルミア春江

山村 ひとみ

「顔が見える県士会作り ーパート2ー」

令和 5 年度も事務局長に立候補したデイサービスカルミア春江の山村ひとみです。前回に引き続き、事務局長を拝命致しました。前回のはじめてということで、あっという間の 2 年間でした。事務局を移転し、事務局さんたちにお手伝いいただき、事務局へのお問い合わせに対応して、月日が経過していったように思います。

これからの 2 年間も以前と同じように顔の見える関係を大事にして（名前のみを存じ上げている人はたくさんいます）、会員の皆様からのご意見、ご要望には速やかに答えていきたいと考えています。今、協会は「協会員=士会員」を推奨しています。多くの会員の皆様にメリットを感じていただけるような士会運営、会費管理を行っていきたく考えていますので、何かありましたら、ホームページからメールでのお問い合わせをお願いしたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



監事
医療法人博俊会 春江病院
リハビリテーション課

中山 幸保

監事を継続して担当させて頂きま
す。コロナ感染症も5類になり規制は
緩和され、県士会の事業や行事も感染
拡大前の状況に少しずつ戻りながら
も、ICTを利用した効率の良い業務
もコロナ感染症があったことから学ん
だことと思います。効率的で充実した
会務が行われるように監事としてお手
伝いさせて頂きます。



監事
(有)ハートフルケア

藤波 英司

作業療法を取り巻く状況の変化やそ
れに伴う課題が山積するなかで、県士
会活動は多様化、複雑化しながら進化
しております。その中においても常に
適正で且つ効果的に活動が展開され
ることが望めます。監事としての役目
を果たしながら県士会の更なる発展に
寄与する所存ですので、今後ともご指
導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申
し上げます。



学術局学術誌編集部
担当理事
学校法人新田塚学園
福井医療大学

酒井 涼

今年度より学術誌編集部の理事を務め
させていただくことになりました。学術誌
は、日々の臨床努力や経験を具体的に表
現する上で非常に重要な役割を果たして
います。学術誌編集部では、これまで通り
年に一度の学術誌の発行に取り組むだけ
でなく、積極的に研鑽活動に取り組む環
境を整えるため、研究や論文執筆の支援
事業を展開する予定です。県内の熱心な
有志の方々が連携し、福井からより良い
ハビリの形を発信していけるよう、その活
動の基盤作りに取り組んでまいります。



学術局局長兼
職能部担当理事
国立大学法人 福井大学
医学部附属病院

亀井 絵理奈

前期に引き続き、職能部を担当させ
ていただきます。前期は、職能部主催
の研修会開催や各部・委員会と研修調
整会を開催し、会員の皆さまに参加し
やすい日程の調整をしてみました。ま
だまだ課題はありますが、今期も会
員の皆さまの日々の業務に役立つ
研修や、各部・委員会とのつながり
をもちながら情報発信していきたいと
思います。



制度対策局地域包括ケア
推進部担当理事
医療法人厚生会 福井厚生病院

水上 保孝

こんにちは。地域包括ケア推進部理
事となりました、福井厚生病院の水上
保孝です。今期で三期目となりました。
地域包括ケアに資する作業療法士の在
り方や協会と士会間の連携、他県士会
との連携、県士会内の活動等について、
会員の皆様と共に考えていけましたら
幸いです。宜しくお願い致します。



制度対策局保険対策部
担当理事
中村病院

山田 祐輝

保険対策部では、県士会会員の皆様
に社会保障制度に関する情報をいち早
く正確に提供できるよう心掛けていき
ます。私自身も急性期医療に身を置き
ながら、その視野を医療から地域まで
広く捉え、顔の見える作業療法士を目
指し、日々研鑽していく所存です。ま
た、県士会会員の皆様との繋がりを大
切にし、身近な存在になれるよう尽力
して参ります。



制度対策局局長兼
地域活動推進部
坂井奥越ブロック担当理事
有限会社なるぞ リハビリ
スタジオなるぞの森

前田 真弘

今回、地域活動推進部坂井奥越ブ
ロックの担当理事に就任しました。広
報部との兼務ではありますが、別々の
活動とは捉えず、坂井地区・奥越地区
の作業療法士の皆様の「横の繋がり」
がより強化され、地域の方々に「身近
な作業療法士」が構築されていくよう
に活動していきたいです。どうぞご協
力宜しくお願い致します。



制度対策局地域活動推進部
福井ブロック担当理事
(株)ケア・フレンズ

松塚 泰孝

『福井ブロック』には、会員の約半
数が在籍されています。作業療法士の
専門性や実績を、地域社会に向けて発
信していけるよう、会員の皆様と一歩
一歩進めてまいります。また、他の職
能団体とも連携しながら地域包括ケア
システムの柱となれるよう整えていき
たいと考えております。今後とも、何
卒よろしくお願い申し上げます。

新役員就任のごあいさつ



制度対策局地域活動推進部
丹南ブロック担当理事
無所属

田中 江津子

この度、地域活動推進部丹南ブロック理事をさせていただくこととなりました。

丹南ブロック会員の方々と共に「ワクワク！ドキドキ！楽しい県士会」を目指し、これまでの行政（地域）での経験を活かしつつ微力ながら努めてまいります。皆様のご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



制度対策局地域活動推進部
二州・若狭ブロック担当理事
医療法人保仁会 泉ヶ丘病院
通所リハビリテーションいずみ

片山 洋平

福井県作業療法士会地域活動推進部の嶺南（二州・若狭）理事をさせていただいています。敦賀市にあります通所リハビリセンターいずみに所属し、介護保険の在宅分野のリハビリを行っています。地域の行政や包括支援センターなど多職種の方とも連携を取りながら作業療法士の働き方を日々考えています。よろしくお願い致します。



教育局MTDLP部担当理事
一般財団法人新田塚医療福祉
センター 福井総合クリニック

熊狼 妙子

MTDLP 担当理事の熊狼です。

福井総合クリニックに所属しています。生活行為向上マネジメントやMTDLPという単語は作業療法士であれば誰もが耳にしたことがあるでしょう。これを県士会員が日常的に活用できるよう推進していきます。今期は基礎研修を修了した会員に対する研修会等を企画していきたいと考えています。

ご協力をお願いします。



教育局局長兼
教育部担当理事
日本赤十字社 福井赤十字病院

樋田 貴紀

この度、教育部理事に就任させていただきました。福井赤十字病院の樋田です。近年、教育のあり方は目まぐるしく変化しています。各施設においても、よりきめ細やかな教育プログラムの推進が必要とされています。県士会教育部として、新人の方、管理者の方々が最大限に生涯教育を活用できるよう尽力していきます。何卒よろしくお願い致します。



広報局局長兼
編集部担当理事
医療法人健康会 嶋田病院

清水 雅浩

編集部を担当させて頂き、今期で3期目になります。皆様のご支援に感謝しております。編集部では「機関誌すいせん」や「WEB すいせん」を通して、多岐に渡る県士会活動の活動内容を会員の方々にお伝えさせて頂きます。想いを持って作業療法を実践している方々の熱意も一緒にお届けしたいと考えております。



広報局広報部担当理事
有限会社なるぞリハビリ
スタジオなるぞの森

前田 真弘

福井県作業療法士会の広報部理事に就任して5期目となりました。コロナ禍の規制も緩和され、様々な活動が再開しています。今期の広報においては、コロナ禍に学んだことと「これから」の広報活動をよりハイブリットなものとしていく必要を感じています。よりよい情報配信を行ってまいりますのでご協力宜しくお願い致します。

福井県作業療法士会の役員並びに委員会委員長として、長きにわたり精励してこられた皆様のご功績に敬意と感謝を表し、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

理事：**野路 丈人**様（保険対策部担当理事）
吉田 一平様（学術局局長 兼 学術誌編集部担当理事）
山田 英二様（教育局局長 兼 教育部担当理事）
渡邊 聡様（丹南ブロック担当理事）

※昨年度までの担当役職を記載しています

特別
企画

福井県作業療法士会の足跡を辿る

—役員経験者から会員に向けたメッセージ—

今回のリレー随筆は、福井市社会福祉法人げんきの家の山川愛さんに担当して頂きます。山川さんは、重度心身障害のある利用者様の作業療法に従事にされており、この度は“作業療法士としての原点”についてご執筆頂きました。会員のみなさんにも、ご自身の作業療法を形作るものについて思いを馳せていただけると幸いです。

(編集部)

第6回

やっぱり楽しい「作業療法」

福井市社会福祉法人げんきの家 山川 愛



この原稿を書くにあたって、今の自分を形作っているものはなんだろうと考えた時に、一番に頭に浮かんだのは「弟との遊び」だった。弟には生後2か月で「急性硬膜下血腫による脳性麻痺」という病名が付けられた。ただ、幼い私にとって弟は弟であり、喜怒哀楽をよく表現する弟はかっこうの遊び相手だった。弟におもちゃを見せては必ず這いをさせたり、マジックペンを握らせては絵を描かせたりすることが何より楽しく、それが私の原点だと思う。弟が療育に通うようになり作業療法に出会った。私にとって作業療法は弟との遊びそのものだった。こうして、幼い頃より作業療法を身近に感じ、「生活の一部にある楽しいもの」として認識し、作業療法士を志した。回復期病院に入社し、他職種と協働しながら患者さんと共に人生を歩んでいく日々もまた楽しかった。患者さんが退院してからも片手で年賀状を書いて送ってくれたり、孫の結婚式に参加できたと報告してくれた時は、生活を彩ることができる作業療法に誇りを感じた。県士会活動にも参加し、右も左も分からない私を導いて下さった米田先生や松塚先生をはじめ、他の作業療法士からも大いに刺激を受けた。生活を彩る一部である福祉用具が好きな私は、今も福祉用具対策委員として県士会に携わらせてもらっている。結婚してからは主婦も活動しやすい県士会活動をと無理のない範囲で活動させて頂いており、歴代の会長や理事の先生方には本当にご迷惑をおかけしたことだろうと反省し、また感謝している。

作業療法士となり13年目に転職が訪れた。弟が療育でお世話になった先生から、今の職場である「げんきの家」での後任を頼まれたのだ。「げんきの家」は重度心身障害児・者のための通所施設で、私の父が弟たちのために1998年に設立した。後任を引き受けた私だが、「げんきの家」ではとにかく職員も利用者も保護者もみんな元気！生まれた時より障害と共に生き、障害もその人の「個性」であり、医療的ケアも「生活の一部」なのである。利用者は様々な支援を受けながら生活を送っており、利用者の思いに寄り添うためには、利用者の生活を彩っている様々な支援団体と繋がることは欠かせない。他事業所や医療機関だけでなく、市町の障害福祉課や地域住民との協働はもちろん、生まれた時からともに歩んできた保護者は、教科書には決して載っていない、利用者の「その人となり」を教えてくれる。「個性」あふれるげんきの家で日々、利用者の身体を抱いて筋緊張や呼吸を感じ、表情や目の動きから意思を感じ、利用者の嬉しさやつらさ、そして「僕たち、こう生きたいんだよ〜」という静かながらも強い思いを受け取る。「弟との遊び」で感じていた楽しさや嬉しさを思い起こし、そして今それに責任感とやりがいを感じている。

「作業療法」ってこんなに奥深いとは…でもやっぱり楽しい！これからもっと楽しいことがあるかもと思っている。

幅広い分野で

ご紹介されている 作業療法士のご紹介

県士会員の中には、作業療法士の資格を活かして幅広い分野で活躍されている方々がおられます。今回ご紹介させて頂く釣部さんは、総合病院で作業療法士としてのキャリアを開始されてから、現在は県民健康センターでご活躍されています。様々なご経験を積まれてこられた釣部さんのお話は、特に地域での仕事に関心がある会員の皆様に響く内容となっています。本稿を通して作業療法の可能性を改めて感じて頂けると幸いです。

(編集部)

仕事と作業療法士と私

(公財) 福井県健康管理協会 県民健康センター 所長補佐 釣部 雄史



私が作業療法士を目指していた時代は、リハビリに関する情報も少なく、福井県にも数十人しかいない時代でした。今では介護保険が始まり、包括的支援事業など大きくサービス、考え方が変わってきました。また、作業療法士の人数も増え、役割も変わってきたように思えます。

私たちの時代、地域で働くには、まず病院で働き、次に地域で活躍できると言われていました。今は関係ないと思います。やりたいことをやりましょう。

私の職歴も総合病院に4年、次が、公益財団法人福井県健康管理協会での勤務です。当協会では、旧清水町にあるふくい健康の森の中の三つの施設①県民健康センター(健診)②けんこうスポーツセンター(プールなど)③生きがい交流センター(温泉)を県より指定管理者として請け負って業務を行っています。

この職場では、いろいろな経験をさせてもらっています。国の制度の変化、会社の方針などで仕事内容は変わりましたが、作業療法士としての仕事の根本は変わっていません。始めは市町村との老人保健事業の仕事が多く占めており、当時は福井県35市町村(今は17市町になりました)のうち約半数の市町村の事業に参画させて頂いておりました。

介護保険制度導入に伴い社会福祉協議会への協力が中心になってきました。また、市町での介護予防事業での協力なども行っております。仕事の一つに住民への講義・講座があり1年間に170

回近く行いました。

それらの仕事の中で、職場での私の立ち位置も変わり、技師から、生きがい交流センター所長補佐、今は県民健康センターの所長補佐となり実際に携わっていない分野(健診)での仕事になっています。しかし私にとっては、コメディカルとの交流や施設の運営など他では経験できないことをさせて頂いていると思っております。

私も今年で55歳。これからのことを考えると自分のプラスになることが多いです。若いころは、いろいろな仕事の中で、なんで私がとか、これ私の仕事じゃないと思ってしていた仕事も多くありましたが、今となっては、マイナスになっている仕事はひとつもないと思います。自分が行ってきたことは、全部自分に返ってきています。責任をもって、与えられたことは進んで行き、どんどんいろんなことに挑戦してみてください。何か(自分が、まわりが)変わっていくと思います。

また、まだまだ地域での作業療法士の活躍の場はあると感じております。考え方ですが、してみたい、興味があること、趣味、ADL、IADLなどでスタッフとして作業療法士として自分として何ができるだろうか、それらは、担当した人によって無限にあると思っています。それが仕事として行えることは、楽しいことではないでしょうか。

これが私の作業療法士30年で感じたこと。皆さんに伝えたいことです。

今回、執筆の場を頂きありがとうございます。

FRESHERS2023

新しい仲間を紹介します！



いのうえ たつき
井上 樹

- ①福井医療大学
②社会医療法人 財団
中村病院
- ③祖父が趣味である庭いじりを死ぬまでやりたいという夢を聞いたため。
④ネルソン・マンデラさん 人種差別問題に対して真っ向から立ち向かった大統領であり、その姿勢を真似したいと感じたため。



おだ せつか
織田 雪華

- ①福井医療大学
②医療法人健康会
嶋田病院
- ③親の仕事の関係で興味を持った。
④母親 仕事・家事・子育ての全て両立していて、存在そのものに感謝しています。



きど きょうすけ
城戸 亨輔

- ①福井医療大学
②一般財団法人
福井総合病院
- ③中学生の時、母の職場見学でなりたかった。
④佐々木さん 大学時代にすごくお世話になったから。



こうかわ りな
幸川 莉梨

- ①福井医療大学
②医療法人健康会
嶋田病院
- ③中学生の時に行った職場体験を通して知り、なりたかった。
④母 周りのことを常に考え、頑張る姿勢が素晴らしいと感じるから。



さいとう まり
齋藤 麻里

- ①福井医療大学
②一般財団法人 新田塚
医療福祉センター
福井総合病院
- ③曾祖母がリハビリをして動けるようになっていった姿を小さい頃に見た。その経験からリハビリに興味を持ち作業療法士になりたいと思うようになりました。
④酒井さん 1つ1つに対して探究心が深く、知識が多いためとても勉強になるから。



のさか けいすけ
野坂 佳佑

- ①福井医療大学
②医療法人健康会
嶋田病院
- ③リハビリを実際に受けたことがきっかけで目指すことになった。
④池本謙志朗さん 人を大切に何事にも熱く本気の姿勢に憧れを感じるから。



ますむら かいり
増村 海吏

- ①福井医療大学
②一般財団法人 新田塚
医療福祉センター
福井総合病院
- ③高校の部活のトレーナーに憧れリハビリに興味を持ち、なろうと思った。
④大谷翔平選手 ストイックさと人間性が素晴らしいから。



みやがわ えり
宮川 愛理

- ①福井医療大学
②一般財団法人 新田塚
医療福祉センター
福井総合病院
- ③学生時代に知り合いの作業療法士の話を聞き、興味を持った。
④面湫さん どんなに忙しくても常に笑顔で患者様と接している所を尊敬しています。



むらかみ なな
村上 七彩

- ①福井医療大学
②医療法人健康会
嶋田病院
- ③高校時代の友人がリハ職を目指しており、自分も興味を持ったから。
④両親 父は単身赴任で仕事をしており、母は家事や介護を頑張っているから。

※今回のご紹介記事掲載に関しましては 2023年6月30日まで当県士会に入会され掲載のご連絡を頂いた方を対象と致しました。7月1日以降に入会された方に関しましては Vol.2にてご紹介させていただきます。



一般社団法人 **福井県作業療法士会**
<http://www.fuku-fuku-ot.jp/>

〒910-0101 福井市つくし野2丁目107番地
TEL : (0776) 55-7001 FAX : (0776) 55-7002
編集担当 / 編集部理事 : 清水 雅浩